

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

令和5年10月5日

①学校名:	日本女子 大学(私立)	②所在地:	東京都文京区目白台2-8-1				
③課程名:	日本女子大学リカレント教育課程 次世代リーダーを目指す女性のための DX人材育成コース	④正規課程/ 履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	令和5年10月1日		
⑥責任者:	生涯学習センター 所長 高梨 博子	⑦定員:	25名	⑧期間:	5ヵ月		
⑨申請する課程の 目的・概要:	<p>経済や社会、またその基盤技術が急激に変化し将来を予測することが難しい現在において、新たな価値を創造し持続的な成長を遂げていくために女性の活躍が期待されている。女性の就労者数は徐々に増加しているものの、女性の経営者、議員、管理職比率は他の先進諸国と比較して低い状況が続いており、また、デジタル分野におけるジェンダーギャップの解消も急務となっている。さらに、現在、企業・団体・地域においてはデジタル人材の不足によりDXを推進するための人材の確保に苦慮する状況が続いており、新規の人材採用だけでなく既存の人材がリスキリングすることによるDX推進人材の育成が望まれている。</p> <p>本コースのプログラムは、あらゆる業界、職種、役職においてDXを推進し、リーダーシップを発揮できる女性の人材を、リスキリングによって育成することを目的とし、修了者には、未だDX途上にある企業・団体・地域におけるDX推進チームの中核を担い、それぞれの立場でリーダーシップを発揮する人材となり、スキルアップだけでなく社会で活躍できる意識を醸成する。</p>						
⑩10テーマへの 該当	女性活躍、DX(AI・IoT等)、 ビジネス等(経済・政治等)	⑪履修資格:	高等学校卒以上または大学受験資格を有し、就労中または就労経験のある社会人女性(当課程の入学審査による)				
⑫対象とする職業 の種類:	業界、職種、役職を問わず、企業や団体においてDX推進に携わる者						
⑬身に付けること のできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 経営戦略、マネジメント、プログラミング、業務効率化、AI、データベース、ネットワーク、マルチメディア、サイバーセキュリティ、コンピュータシステム		(得られる能力) 企業や団体においてDXを推進していくにあたり必要となるリーダーシップやマネジメント力およびデジタル技術力				
⑭教育課程:	本コースは、選択必修科目および自由選択科目で構成する。「DX科学技術概論」や「Pythonで学ぶプログラミング」でDX推進のために理解すべき基礎的なデジタル技術力を修得するとともに、DX推進に重要なコミュニケーションやリーダーシップ等のマネジメントスキルを養うために、「ファシリテーション」や「DX推進のためのプレゼンテーション」を設置している。更に、「DX推進事例研究」では実際のDX推進事例についてグループディスカッション等を行う等、幅広く網羅した設計となっている。DX推進の途上のあらゆる業界、職種、役職にいる女性を対象とし、修了者が各分野業界で潜在的に不足している女性のDX推進人材となり活躍することを想定している。技術系人材としてだけでなく、DXの企画・立案・推進を担い、関連するプロジェクトを率いるリーダーシップのとれる人材の育成を目指している。						
⑮修了要件(修了 授業時数等):	選択必修科目、自由選択科目合わせて6.5単位(65時間)以上の授業科目の履修及び修了認定						
⑯修了時に付与される 学位・資格等:	履修証明書						
⑰総授業時数:	9 単位	⑱要件該当 授業時数:	8単位	該当 要件	双方向 実務家	⑲要件該当授業時数 /総授業時数:	89 %
⑳成績評価の方法:	各科目のレポート等において合否判定を実施する。						
㉑自己点検・評価 の方法:	<p>学校教育法第109条第1項に則り、以下①～⑤を実施する。</p> <p>①修了生による各科目授業評価を実施し、教育内容、指導方法は適切か、シラバスに基づいて授業を展開しているかを確認する。</p> <p>②修了生による授業評価結果を担当講師へフィードバックを行う。</p> <p>③受講生との個人面談で授業の感想・要望を確認する。</p> <p>④各学部から選出した専任教員が構成する「リカレント教育委員会」において、受講生の履修状況の把握、カリキュラムの改革を検討する。また、修了認定・講師の採用審査を行う。</p> <p>⑤「生涯学習センター運営委員会」において、事業計画、報告、運営方針、及び予算を検討する。</p> <p>⑥大学HPIにて公開の「自己点検・評価報告書」にて結果を公表する。</p>						
㉒修了者の状況に 係る効果検証の方法:	受講生面談の実施、受講生が履修する各科目における単位履修のための課題達成度、修了アンケート、授業評価アンケートを実施し、受講前との効果を測定する。						

<p>⑳企業等の意見を取り入れる仕組み:</p>	<p>(教育課程の編成)</p> <p>●リカレント教育課程外部評価委員会 本課程に関係のある、官公庁、団体、企業から委員を選出し、本学が実施するリカレント教育課程において、客観的な視点で評価、助言、取り組みの適切性、成果の確認、点検・評価を行う。</p> <p>●DX推進事業実施委員会 本課程に関係のある、官公庁、団体、企業から委員を選出し、「次世代リーダーを目指す女性のためのDX人材育成コース」における、地域ニーズ、受講生ニーズを把握するため、ヒアリング・意見交換を行う。</p> <p>なお、2024年度については外部評価委員会とDX推進事業実施委員会を統合予定。</p>
	<p>(自己点検・評価)</p> <p>●リカレント教育課程外部評価委員会 本課程に関係のある、官公庁、団体、企業から委員を選出し、本学が実施するリカレント教育課程において、客観的な視点で評価、助言、取り組みの適切性、成果の確認、点検・評価を行う。</p> <p>●DX推進事業実施委員会 本課程に関係のある、官公庁、団体、企業から委員を選出し、「次世代リーダーを目指す女性のためのDX人材育成コース」において、客観的な視点で評価、助言、取り組みの適切性、成果の確認、点検・評価を行う。</p> <p>なお、2024年度については外部評価委員会とDX推進事業実施委員会を統合予定。</p>
<p>㉑社会人が受講しやすい工夫:</p>	<p>就労中、または就労経験のある女性は、仕事や家事との間で学びにくい環境にある。そのため、平日夜間及び土曜日に開講する。また、オンライン授業(Zoom配信、一部オンデマンドコンテンツ)として開講し、LMS(manaba)を活用することにより、居住地域を問わず、ブラッシュアップできる「学びの環境」を提供する。</p>
<p>㉒ホームページ:</p>	<p><a href="https://www5.jwu.ac.jp/gp/recurrent/">https://www5.jwu.ac.jp/gp/recurrent/</a></p>